

## 6.市民等の意識

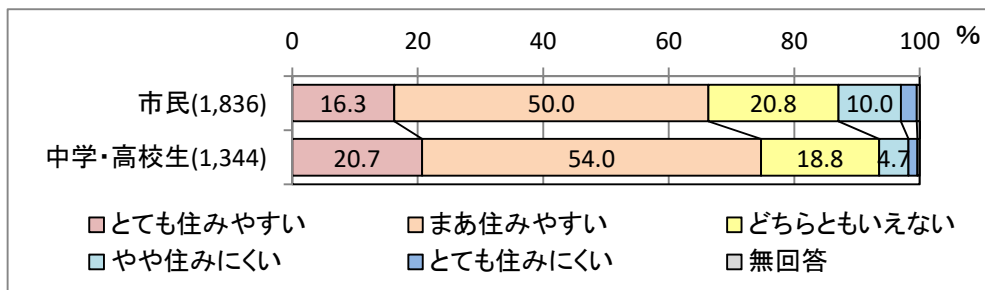
本計画の策定にあたり、市民や事業所などの意識・意向を把握し、計画に反映させることを目的に、2016（平成28）年7～8月にアンケート調査を実施しました。

その結果のうち主なものを以下に示します。

	区分	対象者	回答数
アンケートの対象	市民	18歳以上の市民から無作為抽出した5,000人 (郵送配布/郵送回収)	1,836人
	中学・高校生	市内中学3年生、高校2年生1,344人 (各校で授業の一環としての実施を依頼)	1,344人
	事業所	市内の事業所50社 (郵送配布/郵送回収)	35事業所
	市外から市内への通勤者	市外から市内へ通勤する従業者486人 (事業所を通じて配布を依頼/郵送回収)	290人
	まちづくり団体	市内まちづくり団体6団体 (郵送配布/郵送回収)	6団体

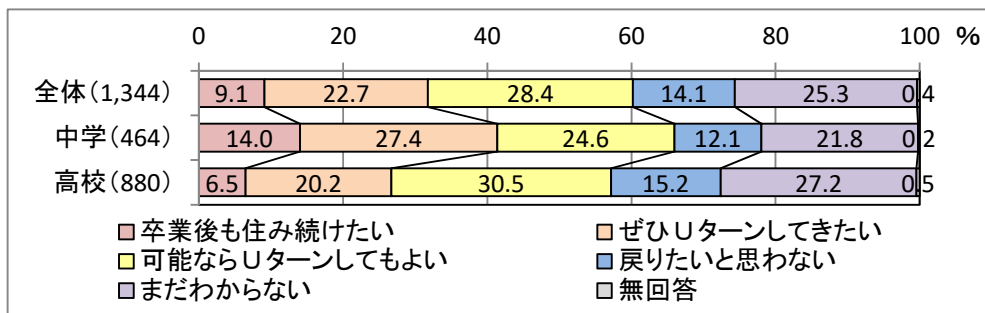
### ◆富士吉田市の住みよさ（市民/中学・高校生）

市民アンケートでは、「とても住みやすい」、「まあ住みやすい」の合計割合は66.3%でした。約2/3の方が「とても」・「まあ」住みやすいと回答しています。また、中学・高校生アンケートではその割合が74.7%となり、約3/4の方が「とても」・「まあ」住みやすいという回答をしています。前回（2006（平成18）年）実施のアンケートと比較すると「住みやすい」という意識が向上しています。



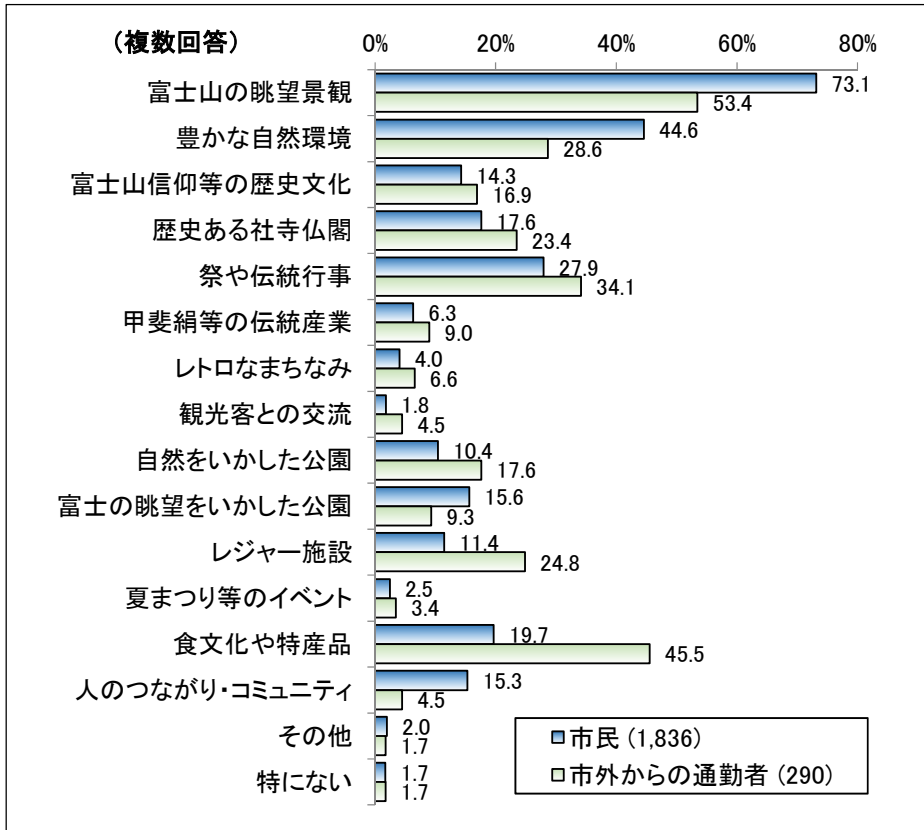
### ◆富士吉田市への将来居住意向（中学・高校生）

中学・高校生が「卒業後も（富士吉田市に）住み続けたい」という意向の割合は1割弱ですが、Uターンも含めて将来地元に住居する意思がある回答は約6割で、中学生の方がその割合は高くなっています。



### ◆富士吉田市の魅力（市民／市外からの通勤者）

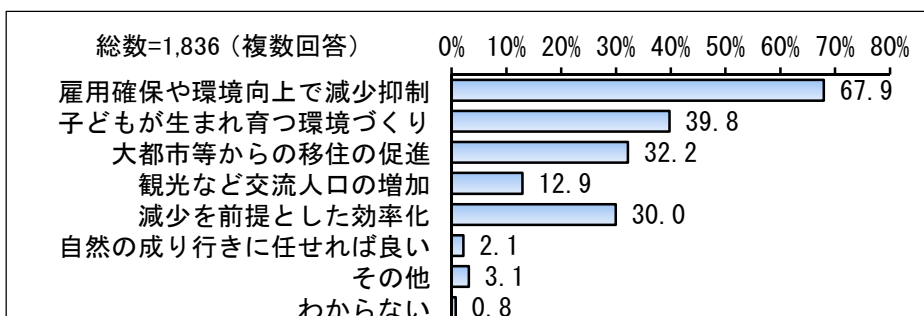
「富士吉田市の魅力として誇れるもの、大切にしたいもの」について市民、市外からの通勤者の方に伺いました。市民アンケートでは、「富士山の眺望景観」、「豊かな自然環境」が突出しており、「祭や伝統行事」、「食文化や特産品」、「寺社仏閣」も比較的高い割合を示しています。一方、市外在住の方では、やはり「富士山の眺望景観」が最も高いですが、その他、「食文化や特産品」、「祭や伝統行事」、「レジャー施設」が高い割合を示しています。



### ◆人口減少への対応方策（市民）

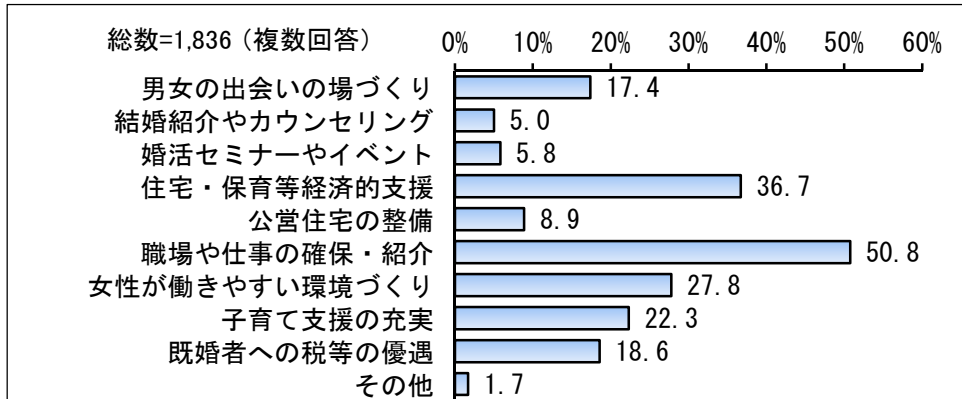
人口減少への対応方策について市民の方に伺いました。全体として、「雇用確保や環境向上により減少を抑制」の割合が高い値を示しており、続いて「子どもが生まれ育つ環境づくり」が高く、人口減少の対応策としては、まず雇用・職場の確保が重要と考えられていることがわかります。

一方で、「減少を前提とした効率化」を指摘する割合も30%ある結果となっています。



### ◆結婚・出産・定住に必要な方策（市民）

結婚・出産・定住に必要な方策について伺いました。「職場や仕事の確保・紹介」、「住宅・保育等の経済的支援」が高い割合を示しており、経済的支援に加え、人口減少への対応方策と同様に雇用・職場の確保が重要と考えられていることがわかります。

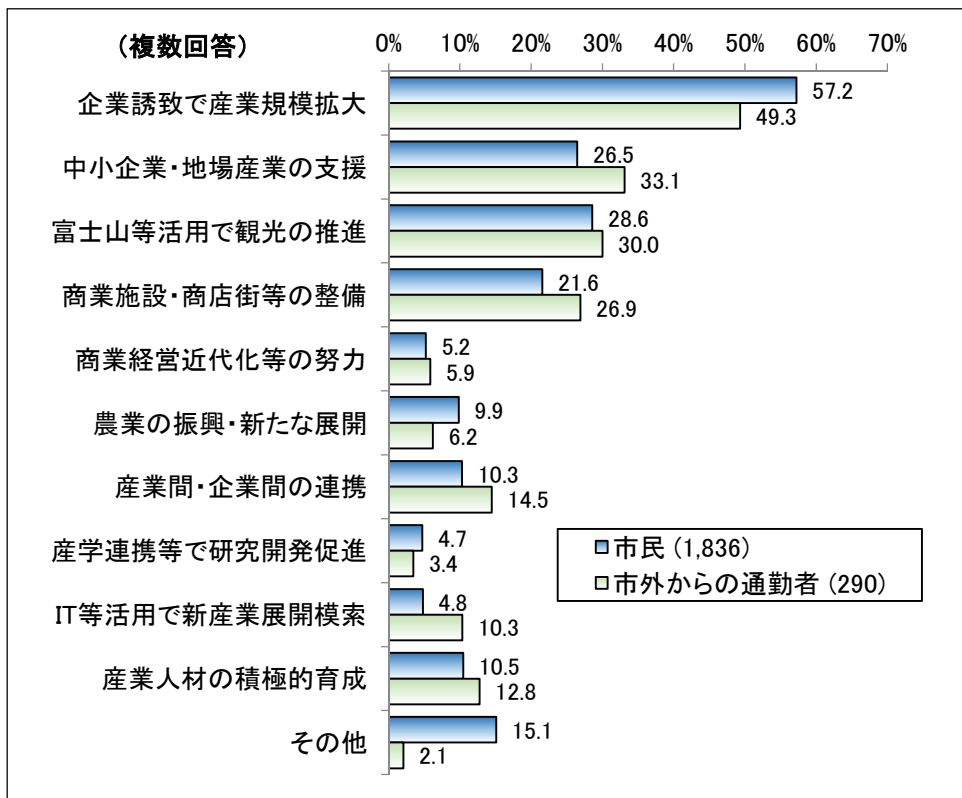


### ◆産業育成の方向（市民／市外からの通勤者）

今後の市の産業育成の方向について、市民及び市外から通勤されている方に伺いました。

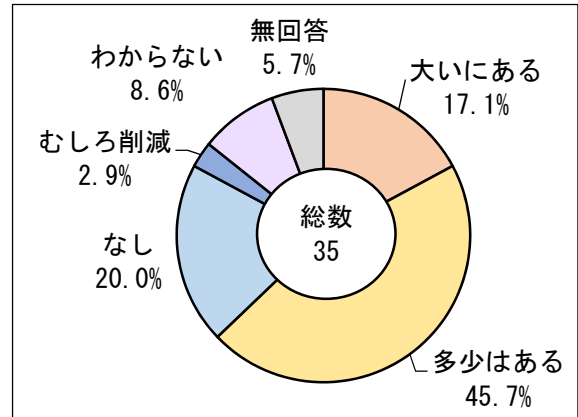
「企業誘致で産業規模を拡大」を、市民、市外からの通勤者ともに半数以上の方が指摘しています。この他では、「富士山等活用で観光を推進」、「中小企業・地場産業等の支援」、「商業施設・商店街の整備」が比較的高い割合を示しています。

1位の「企業誘致で産業規模を拡大」は高齢の方の回答割合が比較的多いのにに対し、2位以下の項目については若年層で比較的高い割合を示す項目が多いという特徴も見られます。



### ◆今後の雇用拡大の可能性（市内事業所）

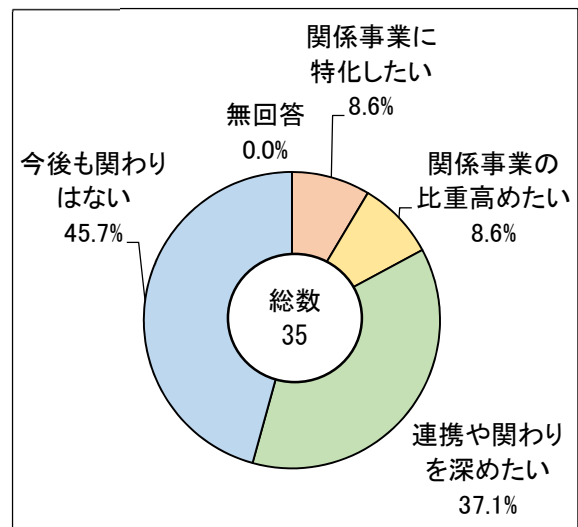
市内事業所に、今後（5年間程度）に従業員を増やす可能性について伺いました。業績の展望の厳しさはあっても、今後の雇用増加については「大いにある、多少はある」という回答が比較的多く、人材確保の重要性が伺えます。



### ◆市内事業所の今後の観光との関わり（市内事業所）

富士山が世界文化遺産に登録され、富士五湖地域に多くの方が訪れるようになってきている状況を踏まえ、市内事業所に今後の観光との関わりについて伺いました。

今後は「観光との連携や関わりを深めたい」とする回答が多く、現状で観光と関わりのない事業所でも3割近くが「連携や関わりを深めたい」と回答しており、富士山世界文化遺産登録を契機とした観光地域としての役割強化の意向が示されています。



### ◆まちづくりへの関わり方（市民／中学・高校生）

「まちづくりにどのように関わり、行動していきたいか」について、市民、中学・高校生に伺いました。

市民アンケートでは、「多くの市民に呼びかけて市全体の大きな力をつくる」が最も多く、組織的に活動する意識が示されています。また、中学・高校生では、「小さなことを自発的に行う」が最も高く、自発的行動の意識の強さが伺えます。

